

高 等 学 校	テーマ	生きること		
	ねらい	死の悲しみや苦しみと向き合う人々の思いにふれ、困難な中でも強く生きようとする心について考える。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦しい中でも、強く生きようとする事の尊さを感じとらせる。 ・ 人間の命の尊厳にふれさせる。 ・ 死というものを見つめ、死について考えることの大切さを実感させる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しみや苦しみと向き合い、つらい中でもたくましく生きようとする人々の思いにふれ、生きることの素晴らしさを感じさせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難な中でも、それに打ち勝とうと立ち向かう人々の思いを推し量らせる。 ・ 歴史上の偉人の社会に対する貢献や業績をとおして、自分自身の生き方を考えさせる。 ・ 様々な生や死についての体験や考察をとおして、限りある生を精一杯生きることの素晴らしさを実感させる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の中だけでなくすべての教育活動の中で、命を大切にしていこうとする視点や姿勢を持つ。 ・ 医療機関や老人福祉施設等の関係者と綿密な打合せをする。 ・ 生と死に関する様々なテーマについて、日頃から関連する情報などを収集し、考察しておく。 ・ 現在悲嘆にある子どもが存在する可能性もあるので、個別に話を聞く時間を設定するなど、事前事後の個別指導を充実させる。 ・ 子ども一人ひとりを把握し、学級内の人間関係を掌握しておく。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民 ・ 特別活動 ・ 総合的な学習の時間 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生と死に関する様々なテーマについての情報を集める。 ・ 自己発見の体験をする。 ・ 自尊感情を高める体験をする。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ授業内容を伝え、親もそのテーマについて考えるなど積極的に関わってもらおうよう依頼する。 ・ 配慮を要する子どもには家庭との連携を密にする。 	<p>読書の感想と意見交換 <闘病する人々や支える人たち></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『種まく子どもたち』（ポプラ社） ・ 『電池が切れるまで』（角川書店） ・ 『命の尊さを考える-生と死を学ぶ読み物集-』（鹿児島県教委） <p><討論をとおしての学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命倫理（尊厳死・臓器移植） ・ 病名告知 ・ 薬物乱用 ・ 児童虐待、DV <p>ゲストティーチャーの話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホスピス医、看護師、ターミナルケアをしているボランティア等の体験談を聞く。（企画から実施まで） <p>「命と向き合っている人々の言葉」 「強くたくましく生きようとしている人々の言葉」</p> <p>人の命や生き方についての考察や議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史上の偉人の生き方をとおして ・ 宇宙や自然に対する畏敬の念 ・ 人の命の尊厳 ・ 自分が死んだら周りの人はどう思うか ・ 命に関わる仕事について <p>体験活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生地域貢献事業、高校生就業体験事業等をとおして、医療機関や老人福祉施設等での体験活動を行う。（企画から実施まで） 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しみや苦しみに立ち向かってがんばる人たちは素晴らしい。 ・ 私も勇気をもってがんばろう。 ・ 生きるということは大変だけど素晴らしい。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材及び子どもたちの感想などをまとめて家庭に配布するなど学習や体験の成果を知らせ、家庭での対話を依頼する。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しみや苦しみと向き合い、困難な中でも強く生きようとする人々から、子ども自身の生き方を振り返らせることができたか。 ・ 周囲の友だち一人ひとりの命も自分と同じかけがえのない命であることを理解させることができたか。 ・ 死というものを見つめ、死について考えることの大切さを実感させることができたか。 ・ 限りある生を精一杯生きることの素晴らしさを実感させることができたか。 ・ 子どもたち一人ひとりの心の動きを十分にとらえることができたか。 ・ 虚無感や死に対する過度の恐怖心を抱かせることはなかったか。